



一般財団法人あかしこども財団

- 2019 年度事業計画書 -

～ すべての子どものしあわせのために ～

～ 目 次 ～

I	2019 年度事業方針	1
II	2019 年度実施事業	
1	こどもの居場所づくり事業	2
2	地域活動支援事業	6
3	子育て応援企業連携事業	8
4	こども研修センター運営事業	9
5	こども研修センター施設整備事業	10
6	あかしこども財団運営事業	12
	<参考>	
	組織体制	14

I 2019 年度事業方針

2018 年 5 月、一般財団法人あかしこども財団は誕生しました。

この 1 年、当財団は、全ての子どもの健やかな成長を願い、より子どもに近い目線で、市民、活動団体、企業、行政等と一丸となって、子ども・子育て支援に取り組んでまいりました。

こどもの居場所づくり事業においては、全 28 小学校区にこども食堂が開設されることで、より身近に子どもの居場所がつくられ、地域の大人たちが地域の子どもの関心を持つとともに、こども食堂を通じて子どもたちを応援したいという機運の向上にもつながりました。

また、地域で子育て支援活動を行う団体に対しては、活動現場に足を運びながら運営者の声を聴くとともに、子育てを応援する企業との連携も進め、地域の子育て力の拡大や子ども支援ニーズの把握に努めてきました。

2019 年度においては、これまでの取組みに加え、当財団が掲げる理念、「すべての子どものしあわせのために」を実現すべく、子どもの利益を最優先とした支援を行うため、専門的知識、実践的技術習得に資する研修事業を新たに展開します。

現在、全国に 1 か所しかない児童虐待対応に関わる職員向け研修センターを市内に整備し、児童虐待の課題に対応できる職員の専門性強化に努めてまいります。

これまでの取組みを更に発展させていくとともに、新たに実施する事業との相乗効果を図りながら、当財団が掲げる理念の達成に向けて全力で取り組んでまいります。

I 2019 年度実施事業

1 こどもの居場所づくり事業【継続事業】

《事業費：23,000 千円 明石市委託事業》

(1) 事業概要

全28小学校区に開設されたこども食堂が、気づきの地域拠点として適切に機能するよう、運営団体に対し支援を行う。また、子どもだけでなく高齢者や障害者など、地域の誰もが集い支い合えるよう、“みんな食堂”の展開も進めていく。

(2) 開設・運営支援

こども食堂運営団体に対し、現場に足を運びながら、継続運営のための機動的な支援を行う。また、交流会や研修会の開催により、こども食堂同士の連携を深めるとともに、気づきの地域拠点としての機能強化や衛生管理の向上等に取組む。

【支援例】

ボランティアの紹介、食材提供、衛生管理支援、研修会・交流会の開催 など
＜助成金の交付＞

・助成額

	手作りの食事		市販品の提供	
	一般	飲食店	一般	飲食店
運営費助成（開催1回につき）	2万円	1万円	1万円	1万円
特別助成（1年度につき）	5万円	2万円	3万円	2万円
衛生管理助成（受講1人につき）	8千円	—	8千円	—

・助成上限額

一般：70万円/1年度

飲食店：35万円/1年度

(3) こども食堂の開設状況（2019年2月現在）

＜開設数＞

38か所（28小学校区）

※詳細は別記（P. 4～P. 5）

(4) 2018年度の主な取組み

時期	取組み内容	備考
5～6月	こども食堂新規開設強化月間	未開設校区に重点的にアプローチ
7月	全28小学校区に開設	一部の校区は財団と協働運営にて開設
8月	“広報あかし”こども食堂特集	
9月	こども食堂研修会	テーマ:「気づきの地域拠点としてのこども食堂」
11月	38か所目のこども食堂開設	
12月	サンタプロジェクト	子育て応援企業の協力を得ながら、サンタクロースがこども食堂等を訪問。プレゼントを配布。
1月	こども食堂交流会 “あかしこども食堂図鑑”作成	こども食堂運営者等(約60人)が一堂に会し、取組みの工夫点などを意見交換。

(5) 今後の展開

①継続運営のための支援

こども食堂38か所にそれぞれの特徴があることから、画一的な支援ではなく、それぞれ個別の事情に応じた支援を行っていく。

個別事情	支援例
ボランティアスタッフが不足している	財団を通じてボランティア募集
子どもが集まらない	地域や学校等へ財団から声掛け、チラシ作成支援
気になる子どもの対応がわからない	市関係部署と連携し、現場訪問

②気づきの地域拠点としての機能強化

2019年4月に開設される児童相談所と適切に連携が図られるよう、こども食堂の現場に足を運びながら運営者と情報共有を図るとともに、研修会の開催等により、気づきの地域拠点としての機能強化を図っていく。

また、これまでは全28小学校区への展開として量の確保に取り組んだが、校区に偏りが見られることから、校区間の平準化に努めていく。

＜校區別開設数(抜粋)＞

1か所(21校区)	2か所(5校区)	3か所	4か所	5か所
松ヶ丘、朝霧、中崎、明石、大観、王子、林、鳥羽、和坂、藤江、花園、貴崎、大久保、大久保南、高丘東、高丘西、魚住、錦が丘、清水、二見、二見北	人丸、江井島、山手、錦浦、二見西	谷八木	—	沢池

③みんな食堂への展開

子どもだけでなく高齢者や障害者など、地域の誰もが集い支い合える“みんな食堂”を展開する。

＜みんな食堂の例＞

あいあいてーぶる (高丘東校区)	第3土曜日の朝食時に実施。子どもに限らず、地域の高齢者や障害者も参加。
あったか食堂ほっとホット(朝霧校区)	第1土曜日の昼食時に実施。地域の高齢者も参加。

<別記：こども食堂一覧（2019年2月現在）>

	こども食堂の名称	実施団体	実施場所	小学校区	開催頻度
1	松が丘こども食堂	松が丘こども食堂	県営明石松が丘住宅1号棟集会所 (松が丘1丁目2)	松が丘	月1回
2	あったか食堂ほっとホット	神戸医療生活協同組合明石海峡支部	朝霧生協会館 (朝霧南町3丁目13-1)	朝霧	月1回
3	アルファステイ朝霧丘子ども食堂	中朝シニア元気クラブ	アルファステイ朝霧丘集会所 (中朝霧丘1-7)	人丸	2か月に1回
4	食育ひろば ひなた	NPO法人兵庫子ども支援団体	コープこうべ大蔵谷店集会所 (東野町1-1)	人丸	月1回
5	中崎こどもカフェ	中崎あいあい	相生会館3階 (天文町2丁目2-27)	中崎	月1回
6	KaTa・KaTaふれあいキッチン	アトリエKaTa・KaTa	ロイヤルヒルズ上の丸 (上の丸1-2-1)	明石	月2回
7	キャッスルホテルこども食堂	株式会社キャッスルホテル	明石キャッスルホテル内1階レストラン (大明石町1丁目8-4)	大観	2か月に1回
8	王子こどもカフェ	王子小学校地区社会福祉協議会	王子小コミセン (王子1丁目1-1)	王子	月1回
9	はやしこどもカフェ	おーえんくらぶ	林コミセン2階 (林崎1丁目11-2)	林	月1回
10	鳥羽こどもふれあいレストラン	鳥羽まちづくり協議会 子どもふれあいチーム	コープこうべ西明石3階 (西明石北町1丁目2-1)	鳥羽	月1回
11	鳥羽厚生館こどもカフェ	鳥羽厚生館運営委員会	鳥羽厚生館 (野々上1丁目11-14)	和坂	月1回
12	こどもレストランnono	一般財団法人こどもサポート財団	グランメゾンアニー1階 (小久保6丁目4-6)	沢池	月4回
13	沢池こどもレストラン	一般財団法人こどもサポート財団	弁財天厚生館 (小久保5丁目14-5)	沢池	月2回
14	きょうどうレストランSONO'Sキッチン	社会福祉法人 協同の苑 藤江デイサービス	協同の苑 藤江デイサービス (藤江890-90)	沢池	月1回
15	こどもスマイルキッチン	こどもスマイルキッチンボランティアグループ	野々池中学校コミセン (沢野1丁目3-1)	沢池	月1回
16	弁財天厚生館こどもカフェ	弁財天厚生館運営委員会	弁財天厚生館 (小久保5丁目14-5)	沢池	月1回
17	げんきっずサロン ふじえにじっこ	げんきっずサロンF&Tボランティア会	東藤江公民館 (東藤江2-13-3)	藤江	月1回
18	はなぞのサポーターイングランチ	ボランティアはなぞの	西明石サポーターイングファミリー (西明石南町2丁目16-2)	花園	月1回
19	子どもコミュニケーション食堂	クッキングスタジオキッチンコミュニケーション	株式会社鍵庄2階ランチルーム (貴崎3丁目21-28)	貴崎	月1回
20	松陰厚生館こどもカフェ	松陰厚生館運営委員会	松陰厚生館 (大久保町松陰95-2)	大久保	月1回
21	コージー	大久保地区社会福祉協議会	大久保コミセン (大久保町244-3)	大久保南	月1回

22	みらいえ子ども食堂	みらいえ子ども食堂ボランティアグループ	コープこうべ大久保店2階 (大久保町大窪2545-8)	山手	月1回
23	西大窪厚生館子どもカフェ	西大窪厚生館運営委員会	西大窪厚生館 (大久保町大窪353)	山手	月1回
24	げんきっずサロンF&T	げんきっずサロンF&Tボランティア会	カーサ汐彩 地域交流室 (藤ヶ丘2丁目36-1)	谷八木	月1回
25	谷八木子ども食堂めえめえ	明石障害児サポート団体TOWA	谷八木小コミセン (大久保町谷八木878)	谷八木	月1回
26	西八木厚生館子どもカフェ	西八木厚生館運営委員会	西八木厚生館 (大久保町八木599-3)	谷八木	月1回
27	江井島子ども食堂	合同会社E-company	わらい屋 (大久保町江井島1028-1)	江井島	月1回
28	ローズ子どもキッチン	ローズキッチン	個人宅 (大久保町西島828-5)	江井島	月1回
29	あいあいてーぶる	あいあいてーぶるグループ	県営大久保第2住宅集会所 (大久保町大窪2489)	高丘東	月1回
30	にこにこてーぶる	にこにこてーぶるグループ	高丘西小コミセン (大久保町高丘7丁目23)	高丘西	2か月に1回
31	レストラン つながり	魚住東地区民生児童委員協議会	魚住市民センター2階 (魚住町西岡500-1)	魚住 錦が丘	月1回
32	清水っ子いちごプラザ	清水校区まちづくり協議会	魚住中学校コミセン (魚住町清水364)	清水	月1回
33	錦ヶ浦キッチン	錦浦校区まちづくり協議会	錦浦小学校家庭科室 (魚住町西岡1349)	錦浦	月2回
34	美里厚生館子どもカフェ	美里厚生館運営委員会	美里厚生館 (魚住町西岡996-1)	錦浦	月1回
35	二見きっずサロン	西二見ゆうゆうクラブ	西二見公民館 (二見町西二見1191-4)	二見	月1回
36	二見北子どもカフェ	あかし子ども財団 地域ボランティア	二見北コミセン (二見町福里274)	二見北	月1回
37	ほのぼの子どもレストラン	神戸医療生活協同組合明石ブロック	デイサービスほのぼのの郷 (二見町東二見183-1)	二見西	月1回
38	子ども食堂にわか	SOU Planning	上西厚生館 (二見町西二見515)	二見西	月1回

2 地域活動支援事業【継続事業】

《事業費：11,500千円 明石市委託事業》

(1) 事業概要

子育て支援活動に取り組む団体を支援し、育成することにより、地域で子育てを応援する基盤を形成し、地域の子育て力の拡大と地域コミュニティの醸成を図る。

(2) 支援内容

- ・地域活動団体への助成金交付
- ・地域活動団体への情報提供、助言
- ・地域活動団体の広報の協力

(3) 活動助成金

＜あかしこども応援助成金＞

市民が主体的かつ自主的に計画し、継続的に展開される活動に対して、助成金を交付する。

【助成の対象となる活動】

児童健全育成活動	地域における児童虐待や青少年非行の防止、早期発見、早期対応に資する活動
子育て支援活動	地域における次代の親育成の視点からの活動や子育ての不安や負担感を軽減するための活動

【コース区分】

コース区分	団体要件	助成金額
チャレンジ	市内に在住する5名以上で構成されたグループ	上限10万円（概ね10グループ）
サポート		上限5万円（概ね40グループ）
地域学習支援		上限20万円（概ね5グループ）
未来のパパ・ママ	市内同一の中学校・高等学校に在籍する生徒及び担当教諭で構成されたグループ	上限4万円（概ね10グループ）

＜こども夢文庫助成金＞

市が認定するこども夢文庫運営団体に対して助成金を交付する。

- ・こども夢文庫の名称（市内8か所）
あさぎり、貴崎、西明石、大久保北、えいがしま、うおずみ、二見北、西二見
- ・助成額
各20万円

(4) スケジュール

時期	こども応援助成金	こども夢文庫
4月中旬 ～5月中旬	実施団体募集	市が認定する団体に対し、助成金を交付
6月初旬	審査会	活動現場訪問
6月下旬	助成金交付	
7月～	活動現場訪問	

(5) 2018年度の取組み

<あかしこども応援助成金>

5月から実施団体を募集し、審査会において48団体を助成金交付団体に決定。7月から順次、活動現場を視察しながら現場の声を聴き、活動団体の声を踏まえ助成制度を検討した。

助成金交付数：48団体

助成金交付額：3,353千円

<こども夢文庫>

市内8か所に開設されているこども夢文庫に助成金を交付。1月には、明石市主催により交流会を開催するとともに、2月には、当財団が主催する子育てイベント「あかし子ども・子育て応援メッセ」に、初めての取組みとして、こども夢文庫8か所合同のブースを出展し、お互いのつながりを深めた。

助成金交付数：8団体

助成金交付額：1,600千円

(6) 今後の展開

活動が継続し、広がっていくよう、活動現場に足を運びながら活動団体の声を聴き、情報提供や広報等の支援を行う。また、地域で子ども支援に関わる様々な主体をつなげていくことで、市内全域に子ども支援活動の機運を高めていく。

3 子育て応援企業連携事業【継続事業】

《事業費：4,500千円 明石市委託事業》

(1) 事業概要

企業等による子ども・子育て支援への取組みを促進することで、地域みんなで子どもを見守る機運を高め、子どもが健やかに育つまちづくりを進める。

(2) 実施内容

あかし子育て応援企業の認定数拡大に取り組むとともに、情報提供等により連携を進め、地域活動団体等の協力も得ながら子育て応援イベントを開催する。

認定企業数：149事業所（2019年2月末現在）

＜子育て応援イベントの開催状況＞

年度	開催日	開催場所	主催
2015年度	10月24日（土）	アスピア明石	明石市
2016年度	10月29日（土）	アスピア明石	明石市
2017年度	11月18日（土）	あかし市民広場	明石市
2018年度	2月16日（土）	あかし市民広場	あかしこども財団
2019年度	未定	未定	あかしこども財団

(3) 2018年度の取組み

子育て応援企業として未更新（3年ごとの更新制）の企業に対し、更新のアプローチを図るとともに、新規企業等に登録案内を行い、認定数の拡大に取り組んだ。

また、子育て応援イベントは、これまでの応援企業によるブース出展に限らず、地域で子育て支援活動を行うグループや市関係部署も出展し、地域のみんなで子どもを応援する啓発イベントとして開催した。

(4) 今後の展開

子育て応援企業認定数の拡大に取り組むとともに、企業に限らず、子ども・子育て支援を行う主体が広がり、つながっていくよう連携を深めていく。

◆あかし子育て応援企業認定の概要

2015年度より、市の新規事業としてスタート。子育て支援に関する取組みを積極的に行っている企業を「あかし子育て応援企業」として認定することにより、企業による子育て支援への取組みを促進し、地域みんなで子育てを応援するまちづくりを進めることを目的としている。

※認定基準

下記の3分野の取組みについて、該当項目のポイント数の合計が7ポイント（従業員100人以上の企業は10ポイント）以上を認定基準とする。

- ① 結婚・妊娠・出産・育児への支援
- ② 地域の子どもへの支援
- ③ 子育てしやすい職場環境づくり

4 こども研修センター運営事業【新規事業】

《事業費：72,944千円 明石市補助事業（国費）》

(1) 事業概要

国の虐待・思春期問題情報研修センター事業のうち、児童虐待対応機関職員等を対象とした研修を行う事業を、明石市が国からの補助金の交付を受け、当財団を運営主体として実施する。

(2) 経緯

2019年度国予算において、児童虐待防止対策強化の一環として、新たに西日本に研修センターを設け（現在は横浜市に1か所のみ）、全国の児童虐待対応に関わる職員向けの高度専門的な研修を実施する事業が盛り込まれた。

2019年4月に新たに児童相談所が開設となる明石市においては、他県の指導的立場にある児童相談所職員等と日常的に情報交換できる環境が身近に整備されるとともに、専門性と対応力を備えた職員を早期に育成できるなどの様々な効果が期待できることから、事業実施に向けた事前協議を進め、2019年1月28日付で国より事業の対象自治体とする決定を受けた。

これを受けて、子ども支援にかかる人材育成を主要事業に掲げている当財団が、明石市からの補助により事業の運営主体となり、(仮称) 関西こども研修センター（あかし研修所）事業として取組むこととなった。

(3) 研修の概要

対象者：全国の児童相談所、児童福祉施設等の職員で主に指導的立場にある者

研修内容：児童虐待防止に資する法定研修、実践的研修等

※初年度は、年間概ね10テーマ程度を開催する。

(今後は、各月2テーマ程度、年間25テーマ程度の研修開催を目指す。)

研修体制：センター長、研修企画専門員等を配置

※事業実施にあたり職員を新たに雇用する。

研修場所：市内公共施設等

※継続・安定的に研修生を受け入れていくため施設整備を別途進める。

<参考：子どもの虹情報研修センターの概要>

運営主体：社会福祉法人横浜博萌会【横浜市補助事業（国費）】

所在地：横浜市戸塚区汲沢町983番地

建築面積：1,155.75㎡

延床面積：2,600.50㎡

構造規模：鉄筋コンクリート造地上3階建（2003年2月完成）

主な機能：専門研修、専門相談、専門情報の提供、研究活動

5 こども研修センター施設整備事業【新規事業】

≪事業費：670,000千円 明石市補助事業（国費）≫

（1）整備の概要

全国から安定的・継続的に研修生を受け入れていくため、専用の研修施設を以下のとおり整備する。

① 予算

670,000千円（2019年度当初予算）

※国の「次世代育成支援対策施設整備交付金」を活用（国10/10相当）

② 事業者（施設所有者）

当財団

※市が無償貸与する土地に当財団が整備する

③ 建設場所

明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番地の7

（現在のあかし保健所西側駐車場の一角、明石こどもセンターの北側）

④ 構造規模

・鉄骨造2階建て

・建築面積 約980㎡（精査中）

・延床面積 約1,700㎡（精査中）

⑤ 整備スケジュール（予定）

（2019年）

3月 ・設計施工一括工事契約業者の選定（公募型プロポーザル方式）

4月 ・契約

・設計開始

8月 ・工事着工

（2020年）

3月 ・工事竣工

4月 ・開所

(2) 施設の機能（参考機能）

研修施設の主な諸室は以下のとおり（諸室の配置等は契約業者からの提案等を踏まえ今後精査する）。

部屋名	部屋数	利用者数	m ² （目安）	備考
大研修室	1	150名	270～300 m ²	・大人数の講義形式の研修に使用 ・2つに間仕切り可
ロビー兼待合	1		80 m ²	大研修室入口前
センター役員室	2	2名	各 20 m ²	センター長1、顧問1
役員応接室	1		20 m ²	
事務職員室	1	20名	120 m ²	財団職員 20～25名を想定
面談室	1	6名	20 m ²	講師や研修生との面談スペース
会議室兼応接室	1	10名	30 m ²	
印刷室兼作業室	1	4名	30～35 m ²	研修資料等の印刷を行う
機械室①	1		10 m ²	サーバ機器を設置する
機械室②	1		20 m ²	システム関連機器を設置する
職員更衣室	2	男 10名 女 10名	各 10 m ²	
清掃員室	1		15 m ²	
倉庫	2		40 m ²	
中研修室	4～5	各 30名	各 70 m ²	・小グループの事例検討等に仕様 ・各室2つに間仕切り可
ラウンジ	1	25名	50～60 m ²	研修生の休憩スペース
講師控室	1		30～40 m ²	外部講師の控室
開架書庫兼閲覧室	1		50～70 m ²	研修生が資料を自由に閲覧できるスペース
書庫	1		50 m ²	

※エレベーター設置

※各階にトイレ設置

6 あかしこども財団運営事業（こども支援人材育成事業）【継続事業】

《事業費：17,530千円 明石市補助事業》

(1) 事業概要

財団事業を実施するにあたり、適切な事務の執行、効率的な運営、効果的な広報等を行っていく。

また、自主事業（こども支援人材育成事業）として、子ども支援に携わる人材の育成を推進するため、研修等の開催、子ども向けイベントの開催等を行う。合わせて、子ども支援活動を始めようとする市民に対する立ち上げ支援、その後の安定的な運営支援を行うとともに、地域において子ども支援活動の主体となり得る団体、企業等へ情報提供していく。

(2) 人材育成の実施例

- ・ イベントを通じた子ども支援に関わる人材の掘り起こし
子ども向けイベントの開催（親子参加型、子ども参加型など）
- ・ 子ども支援の人材育成
子ども支援ボランティア研修の開催
- ・ 活動団体の立ち上げ、活動支援
活動団体立ち上げ支援講座の開催、活動現場へのマッチング
- ・ 市民への幅広い情報提供
広報紙（財団だより）の作成・配布、ホームページの充実

(3) 2018年度の取組み

時期	実施内容	備考
4月	財団設立準備	
5月	財団リーフレット作成 設立記念イベント開催	地域や関係機関等の会合 に出席し財団リーフレット 等でPR
6月	財団HP立ち上げ	
7月	“子ども向け食のイベント”開催	ボランティアを公募し、3 名が参加
9月	財団だより（創刊号）発行	
10月	あかしこども秋まつり	荒天により中止
11月	子育て啓発イベント開催	イオン明石で実施
12月	サンタプロジェクト実施	子育て応援企業や地域ボ ランティアと連携
1月	財団だより（冬号）発行 財団ホームページ全面リニューアル	
2月	あかし子ども・子育て応援メッセ開催	市民や大学生もボランテ ィアとして参加

(4) 今後の取組み

こども研修センター事業の開始などにより、予算規模や人員体制が大幅に拡大することから、より一層の事務の適正化に取り組む。また、人材育成のあり方についても、事業を実施するうえで、課題等を抽出しながら検討を進める。

<参考：組織体制（2019年2月現在）>

※（仮称）関西こども研修センターの職員については、別に採用の手続きを進めています。

理事長

濱田 純一	東京大学 名誉教授（あかし市民図書館名誉館長）
-------	-------------------------

理事（理事長ほか4名）

寺見 陽子	神戸松蔭女学院大学大学院 教授
公家 裕	あかし教育研修センター所長（前明石市教育長）
佐野 洋子	明石市福祉局こども総合支援部長
櫻井 久美子	常務理事（兼事務局長）

評議員（7名）

岩井 義矢	神戸YMCA 理事
岡本 敬子	前国際ソロプチミスト明石会長
佐藤 美知代	民生児童委員協議会児童福祉専門部会 部会長
高橋 嗣郎	明石ケーブルテレビ社長
福井 宣昭	コープこうべ第6地区活動本部本部長
藤本 政則	立正学園施設長
松山 清	兵庫県中央地区里親会理事

監事（2名）

津久井 進	弁護士
箕作 浩志	明石市総務局財務室長

事務局員（6名）

東瀬戸 洋志	課長（市派遣職員）
合田 貴恵子	係長（市派遣職員）
戸田 一仁	係長（市派遣職員）
仲宗根 貴彦	事務職員（市派遣職員）
白木 竜史	事務職員（市派遣職員）
柏 実咲	事務職員（市派遣職員）

【あかしこども財団ライブラリ】

＜広報誌等＞



＜事業啓発チラシ等＞



【あかしこども財団ロゴマーク】



笑顔の3人の子どもたちをイメージしたロゴマークとなっています。子ども一人ひとりに個性があることから、それぞれ表情が異なり、前髪は明石らしく、タコや魚の形を用いています。